



社協だより

出水市

第31号

平成27年10月15日発行

編集・発行／社会福祉法人出水市社会福祉協議会
☎0996-63-2140

出水市平和町97番地（出水市社会福祉会館）
URL <http://www.shakyo.or.jp/hp/1735/>



『赤い羽根共同募金 街頭募金を行いました』

今年も、10月1日から12月31日の3か月間を運動期間と定め、赤い羽根共同募金運動が始まりました。

運動開始にあたり、10月最初の土曜日に市内各スーパー等のご協力をいただき、店舗の店頭において、街頭募金キャンペーン及び募金活動を実施し、多額の浄財をお寄せいただきました。

※募金の前年度実績や、配分方法等については、次ページ以降に掲載しております。

目次

- ◆赤い羽根共同募金運動・配分金事業の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2～3
- ◆ネットワーク代表者及び在宅福祉アドバイザー合同研修会、地域を見守るアドバイザーさん!!・・・ P 4
- ◆子育てサポーター養成講座、児童クラブ行事、はじめませんか?いきいきサロン・・・ P 5
- ◆訪問入浴介護事業のご紹介、「暖らん」・「野菊」敬老会・・・・・・・・・・・・ P 6

赤い羽根共同募金運動にご協力お願いします!

共同募金の歩み

共同募金は、戦後直後に市民を主体とした民間の運動としてスタートしました。

当初は、戦後復興の一助として戦災孤児や生活困窮者の援護に使われてきましたが、時代を経て、経済状況も変化する中、生活困窮者の救済から住民参加の地域福祉・在宅福祉を目指すものへと変わりました。

「誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」のために、たくさんの方々の助け合いの精神に支えられています。

赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」(循環型の募金です)。

平成 26 年度募金実績

区分	実績額(円)
戸別募金	6,569,400
個人募金	332,000
法人募金	2,171,135
職域募金	288,860
学校募金	232,978
街頭募金	320,294
その他募金	1,066,395
合計	10,981,062



街頭募金活動の様子



©L5YWP・TX

本年度目標額 **11,080,000 円**

平成 25 年度皆様にいただきました共同募金は 11,249,995 円でした。この募金に基づき平成 26 年度は、7,903,000 円が鹿児島県共同募金会から出水市社会福祉協議会へ配分され、市内の様々な福祉活動に役立てられました。残りの募金は、鹿児島県共同募金会において、県内の様々な福祉活動を行う団体等に配分されました。

地域福祉活動として 4,161,622 円

(内訳) 老人クラブへ助成	420,000 円	民生委員児童委員協議会へ助成	180,000 円
ボランティア連絡会へ助成	40,000 円	更生保護女性会へ助成	30,000 円
行路困窮者旅費配分事業	5,910 円	移動式ベンチ設置事業	2,187,864 円
貸出用物品整備事業	12,468 円	地域福祉活動助成事業	915,646 円
ボランティア保険補助事業	199,180 円	ボランティア講座	50,081 円
命のカプセル事業	111,573 円	振込手数料	8,900 円

障害者福祉活動として 144,465 円

(内訳) たんぼぼ料理教室	34,465 円	聴覚障害者協会へ助成	30,000 円
手をつなぐ育成会へ助成	80,000 円		

児童・母子寡婦福祉活動として 2,096,948 円

(内訳) 母子寡婦福祉会へ助成	30,000 円	ボランティア体験学習	411,619 円
交通遺児援助事業	35,000 円	小・中・高・養護学校へ助成	1,110,000 円
子育てサロン事業	510,329 円		

高齢者福祉活動として 1,190,075 円

(内訳) いきいきサロン事業	1,090,000 円	ますらお料理教室	51,610 円
いきいき支援事業	48,465 円		

社会福祉イベントとして 309,890 円

(内訳) ボランティアフェスタ	231,085 円	介護食の料理教室	78,805 円
-----------------	-----------	----------	----------

平成26年度に実施された共同募金配分金事業の紹介

平成25年度に皆さんから寄せられた赤い羽根共同募金を財源に、平成26年度に助成を受けて、さまざまな地域福祉活動・事業に取り組みました。活動の一部を紹介します。



★ボランティア体験学習

福祉施設等において、車いす操作、シーツ交換、利用者の介助、配膳、清掃、演芸披露など、ふれあい交流をしました。



★地域活動助成事業

地域福祉活動に取り組む団体やボランティアグループを応援するために「公募」により活動資金を助成しました。(写真は、花立東自治会の低座いす購入)



★ふれあいいいききサロン事業

楽しく気軽に誰とでも参加できる「つどいの場」として活用されています(写真は、馬流サロンの様子)



★ボランティアフェスタ

社会教育・福祉に貢献された方々の表彰や、記念講演、活動体験発表、交流演芸発表、福祉バザー、体験コーナーなどがあり、多くの方でにぎわいました。



★介護食の料理教室

11月から3月までの月1回働く婦人の家で開催しました。参加者は「今後の食事に役立つ」と喜んでいました。



★移動式ベンチ設置事業

市民の皆様の憩いの場に活用していただくためベンチ設置を行っています。

共同募金は、住民相互の支えあい活動です。
寄せられた募金は、地域福祉のために・・・

平成二十七年年度 在宅福祉アドバイザー及び
小地域福祉ネットワーク代表者合同研修会開催

平成二十七年七月二十七日・二十八日に出水市社会福祉会館と高尾野老人福祉センター、二十九日に野田老人福祉センターで在宅福祉アドバイザー及び小地域福祉ネットワーク代表者合同研修会を開催し、二百三十三名の方が参加されました。

今回は上村西自治会長の福山博幸氏に「サロンから見守りまで」と題し、自治会で取り組んでいる地域福祉活動について事例発表をさせていただきました。



小地域福祉ネットワークとは、一人暮らしのお年寄りや、お年寄り夫婦だけの世帯、生活困難な心身の不自由な方々などを地域住民の協力により見守り・支え合う活動です。



♪北国の春、の曲に合わせて健康体操

あなたの

地域を見守る
アドバイザーさん!



涼松自治会
アドバイザー
大山和子 氏

在宅福祉アドバイザーは、社会福祉協議会で実施している、「小地域福祉ネットワーク事業」で、声かけや安否確認をしながら地域ぐるみで助け合い活動をする取りまとめ役さんです。

今回、平成二十五年よりアドバイザーとして活動されている涼松自治会の大山和子氏にその活動を伺ってみました。

○アドバイザーとしてどんなことに取り組まれましたか？

サロンを立ち上げ、月に一回程度、皆で顔を合わせる場を作ることができました。

○活動での苦労などありますか？

足が痛くて、サロンへ来ることができない方や、訪問時に出てきてもらえない方の安否確認ができないことがあります。

○これから取り組みたいことは？

現在支え合いマップ作りに取り掛

かつており、ご近所付き合い、向こう三軒両隣の復活や、地域での課題をみんなで考え、より良い自治会になるようにしていきたいです。

大山氏はアドバイザー活動を通して自治会内の皆さんを知ることができ、また、サロンを立ち上げたことでコミュニケーションが取りやすくなり毎月のサロンが楽しみだと声をかけてもらえるようになりました、とおっしゃっていました。

お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。



サロンでの鬼火焚き

出水市ファミリーサポートセンター 『まかせて会員』養成講座が開催されました

平成二十七年七月二十五日（土）、高尾野老人福祉センターにおいて「平成二十七年年度まかせて会員養成講座」が開催され、子育て支援に関心のある市民十三名が受講されました。

カリキュラムは、NPO法人メンタルケア鹿児島代表理事平川氏による「子どもとの接し方・親との接し方」、県レクリエーション協会指導員中村氏による「幼児の遊び」のほか、出水市の子育て支

《参加者の声》

◆子育ても一段落つき、大変な母親たちの力になりたいと思い受講しました。

◆現在の母親たちは、仕事と子育ての両立など思い悩んでいることが多い講座を受けて勉強になった。自分の価値観を押しつけないで、寄り添えるよう支援したい。



子どもの遊びの講座風景

援の仕組み、出水消防署員による「幼児救急法」など子どもに関する基礎的な知識を学んでいただきました。



参加者は、講義や実技に真剣に取り組む、時折頷くなど共感された様子が見られ、有意義な時間となりました。

今後、市民の子育て支援のサポート役として活躍されることが期待されます。

児童クラブの子どもたち 〜夏休み体験学習〜

夏休み期間中にクレインパークで「スタンプ作り」「ブンブンゴマ作り」「折り染め」「飛ぶおもちゃ作り」等の体験学習を行いました。「折り染め」に挑戦した東出水児童クラブは、折って染めた和紙を使用してうちわを作りました。「わあーっ」と歓声が上がるなど、手作りのうちわを作ることができ、夏休みの良い体験となりました。



はじめませんか？いきいきサロン 〜サロン紹介〜



へごやま会（荒崎自治会）

〳その昔、荒崎の丘は「へご」の山だったそうです。全員一致で『へごやま会』と名付けました。発足して四年、会員の皆様は会を重ねるごとに、はつらつと若くなられた様な気がします。支援者も会員と同じ様に、月に一度の例会をとっても楽しみにしております。『笑顔に勝る化粧なし』スッピンです。皆、笑顔美人（笑）思いやりの心を大切にするサロンを目指します。

訪問入浴介護サービス 在宅での安全な入浴

介護・介助が必要な、高齢者や障害者の方々（各種の医療処置、医療器具をつけたままの方もご利用頂いています）が、ご自宅のお部屋でそのまま安全で心地よく入浴できるサービスです。

所要時間は一時間程度です。

専用の浴槽とボイラーを装備した訪問入浴車とスタッフ三名のチーム（看護職員一名・介護職員二名）で訪問し、三畳ほどのスペースがあれば、寝ているそばで入浴をして頂くことができます。

看護職員が同行するため、ご利用者様の身体的な状態を把握でき、訪問介護などのほかのサービスを受ける際の情報交換やアドバイスに生かされます。



ご利用者様に喜んで頂くための道具をいっぱい積んだ訪問入浴車でお伺いします。

◇訪問入浴の効果◇

① 身体的効果

・温浴効果による血行促進によって、顔などの色つやが良くなり身体機能の回復が期待できます。



・皮膚を清潔にすることで痒みを減らし、また、床ずれの予防と改善が期待できます。

② 精神的効果

・気分がほぐれリラックスします。気分転換がはかられ、会話を楽しむ余裕や心のゆとりも生まれます。

・また、緊張感の緩和や爽快感向上の効果を得られ、睡眠もよくとれるようになります。

③ その他の効果

・入浴時にシーツや寝具の交換、更衣はもちろん、オムツ交換や必要に応じた付帯サービスを行ないますので、ご家族の介護負担が大幅に減少します。

・入浴時、入浴後の会話等で心配事やストレスの軽減につながります。

・ご自宅にて入浴できるので、お出かけになる手間もご利用者様への負担も軽減できます。

・入浴の状態が一目瞭然ですので、ご家族も安心して頂けます。

グループホーム
野 菊

敬老会

小規模多機能型居宅介護事業所

暖らん

9月18日（金）に『暖らん』、19日（土）に『野菊』の敬老会を開催しました。来賓の方々にお祝いのことをいただいた後、暖らんで職員が日頃練習した踊りや歌を発表し、野菊では、野田児童クラブの子ども達による歌や、絵本の読み聞かせ、折鶴、ペンダント・肩たたきのプレゼント等や、踊りボランティアグループによる踊りの披露等、各施設とも工夫を凝らした敬老会となり、その後、会食にて楽しいひと時を過ごしました。

